



第1回家庭教育学級～4年学年行事「命の授業」



7月11日（水）に、PTA文化部主催の第1回家庭教育学級が開講されました。

当日は、開講式の後、4年学年行事の「命の授業」が、群馬県助産師会から派遣された助産師柴田さんと井田さんを講師に迎え、開催されました。

当日は、とても暑い日となりましたが、体育館には、たくさんの4年生の保護者の方や文化部の役員さんに来ていただき、4年生とともに、一人一人の「命の大切さ」を学ぶことができました。また、来月出産予定の安田さんにも協力して

いただき赤ちゃんの心音を聞かせていただいたり、齋藤さんとそのお母さんには、赤ちゃんが生まれる様子を演技していただいたりしました。それらのことを通して、一人の人間が生まれることの大変さや、母親・父親の思いを子供たちは感じ取ったことと思います。このことは、一人一人の自尊感情の向上や家族内コミュニケーションの向上につながると思います。また、この授業を通して、「生きてるだけで百点満点」という言葉のすばらしさを改めて思い知りました。



更正保護女性会からの贈り物

7月11日（水）桜木地区更正保護女性会の皆様より、雑巾と「薬物乱用禁止」を呼びかける和紙人形をいただきました。毎年、この時期に、雑巾と和紙人形をいただき、大変ありがたく活用させていただいております。

更正保護女性会の皆様には、毎週水曜日の放課後、児童の下校の見守りもしていただき、日頃より大変お世話になっております。



6年 情報モラル講習会 7/13(金)

ぐんま子どもセーフネット活動委員会のインストラクター丸山道慶さんを招いて、6年生が情報モラルの学習をしました。

今、小学生でもインターネットとつながられるスマートフォンやゲーム機、タブレット等を持っています。そして、それらを使って、ライン等で友達とコミュニケーションを取っている子供たちが増えてきているというのが現状です。実際、本校の児童の中にも行っている人がいます。まだ事件に巻き込まれるなどということは無いと思いますが、一步使い方を誤ると危険です。丸山さんにお話を伺って、親が子供の行動をしっかりつかんでおく必要があると、強く感じました。



6年生の優しさ伝わる～あさひ特別支援学校との交流～

7月10日（火）に、6年生が、あさひ特別支援学校に出掛けてきました。

体育館で、初めて顔を合わせたときには、緊張していた6年生でしたが、交流が始まると、みんな笑顔。事前に用意していたリコーダーや鍵盤ハーモニカ、ボウリング、風船バレーボール、読み聞かせ等で、約1時間でしたが、あさひの子供たちも先生方も大喜びの交流会となりました。6年生にとって貴重な体験でした。

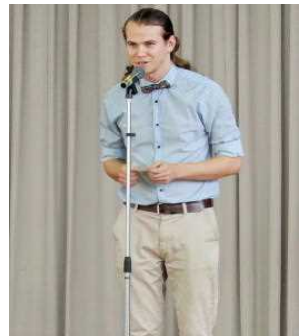


ALTジョシュア先生ありがとう！！

一昨年度の2学期から、英語や英語活動でお世話になっていたジョシュア先生が、母国オーストラリアに帰ることになりました。

ジョシュア先生は、日本への短期留学を含め今回3回目の来日で、日本語がとても堪能でした。子供たちは、授業を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさを学ぶことができました。

ジョシュア先生の今後のご活躍を祈念いたします。



児童集会～保健委員会の発表～

13日（金）、保健委員会の児童が発表してくれました。今回は「肥満予防とむし歯予防」をテーマとして、「おかしは量を決めて食べる」「甘い飲み物は控える」「食べたら運動する」など、日頃の生活の見直しについて、寸劇で全校児童に訴えました。また、その後、全員参加の〇×クイズを通して、内容を補足しました。さらに、むし歯予防や歯肉炎の予防についても触れ、最後には、治療済みも含めむし歯が1本ない1年2組を表彰し、締めくくりました。

群馬県では「小・中学校における生活習慣病予防対策基本方針」を29年11月に作成しました。そして、それを基に、今年度より、各学校において肥満児対策を行っていくことになりました。理由としては、最近では、生活習慣病が、大人だけでなく子供においても問題が見られるようになってきている、そして、その生活習慣病が子供の肥満と極めて深く関連しているということからだそうです。

日頃の生活習慣を見直し、肥満予防とむし歯予防に気を付けていってほしいと思います。特に、むし歯をまだ治療していない児童は、早く治療を済ませるようにお願いします。



<1年2組代表受賞>